

表12 経年指標 T_i

項目		構造ひび割れ・変形			変質・老朽化		
程度		a	b	c	a	b	c
部位	範囲	1. 不同沈下に関するひび割れ	1. 2次部材に支障をきたしているスラブ、梁の変形	1. a,bには該当しない軽微な構造ひび割れ	1. 鉄筋さびによるコンクリートの膨張ひび割れ	1. 雨水、漏水による鉄筋さびの溶け出し	1. 雨水・漏水、化学薬品等によるコンクリートの著しい汚れまたはしみ
		2. 誰でも肉眼で認められる梁、壁、柱のせん断ひび割れ、または斜めひび割れ	2. 離れると肉眼で認められる梁、壁、柱のせん断ひび割れ、または斜めひび割れ	2. a,bには該当しないスラブ、梁のたわみ	2. 鉄筋の腐食	2. コンクリートの鉄筋位置までの中性化または同等の材令	2. 仕上げ材の軽微な剥落または老朽化
I 床 (含, 小梁)	①総床数の1/3以上	0.017	0.005	0.001	0.017	0.005	0.001
	②同上1/3~1/9	0.006	0.002	0	0.006	0.002	0
	③同上1/9未満	0.002	0.001	0	0.002	0.001	0
	④同上注) 0	0	0	0	0	0	0
II 大梁	①建物1方向につき総部材数の1/3以上	0.05	0.015	0.004	0.05	0.015	0.004
	②同上1/3~1/9	0.017	0.005	0.001	0.017	0.005	0.001
	③同上1/9未満	0.006	0.002	0	0.006	0.002	0
	④同上注) 0	0	0	0	0	0	0
III 壁・ 柱	①総部材数の1/3以上	0.15	0.045	0.011	0.15	0.045	0.011
	②同上1/3~1/9	0.05	0.015	0.004	0.05	0.015	0.004
	③同上1/9未満	0.017	0.005	0.001	0.017	0.005	0.001
	④同上注) 0	0	0	0	0	0	0
減点数	小計	0.000	0.020	0.000	0.023	0.007	0.001
集計欄	合計	$p_1 = 0.020$			$p_2 = 0.031$		
		2F階 経年指標 $T_i = (1-p_1) \times (1-p_2) =$			0.950		

- [注] 1) ④は面積・総部材が0のもので、建物の保全状態がきわめて良好と認められるもの
2) 選択した個所を○や網掛け表示などでわかるようにする